



IP Office 1608/1616 Quick Reference

IssueStringPrefix 1 IssueStringSuffix
2022 October
© 2021-2022, Avaya Inc.
All Rights Reserved.

アピアランスボタン

電話機では複数の同時通話を処理できます。各通話で電話機のアピアランスボタンうち1つを使用します。デフォルトではこれらは **a=**、**b=** などラベル付けされます。

1. アピアランスボタンを押すと、そのボタンで通話の発信、応答、保留、保留解除ができます。
2. ボタンのランプは各通話の状態を次のように表します。
 - **緑色の低速点滅**：着信通話です。このボタンを押すと通話に応答し、他の通話を保留にします。
 - **緑色の点灯**：会議通話です。このボタンを押すと通話が保留されます。
 - **緑色の高速点滅**：通話が保留されています。このボタンを押すと保留を解除し、他の通話を保留にします。
 - **赤色の点灯**：ハンドセットを持ち上げる/置くか、**スピーカー** または **ヘッドセット** を押すとこのボタンが変わります。

ソフトキー

画面の下部にあるキーは、現在強調表示されているコールアピアランスボタンに応じて変わります。

1. 方向キーを使用すると、画面の強調表示が移動します。
2. 強調表示が移動しても、現在接続されている通話には影響しません。こうすることで、現在接続されている通話以外の通話のソフトキー機能を選択できます。

電話をかける

まだ通話していない場合は、次の手順を行います。

1. 必要な番号をダイヤルします。

2. 最初に利用できるアピアランスボタンが使用されません。

前の番号にリダイヤルする

1. リダイヤルを押します。
2. 上/下方向キーで、通話をスクロールします。
3. 強調表示した連絡先に発信するには、**通話**を押します。

通話ログから発信する

通話履歴を使用して次のように発信できます。

1. **通話ログ** ボタンを押します。
 - 左右のカーソルを使用して、表示する通話のタイプを選択します。
2. 上/下方向キーで、通話をスクロールします。
3. 強調表示した連絡先に発信するには、**通話**を押します。

連絡先から発信する

電話帳の連絡先を使用して電話をかけることができます。また、**電話帳**が表示されているすべての機能で連絡先を使用できます。

1. キーを押します。
2. 左/右方向キーを使用して**すべて**、**個人用**、**外線**、**ユーザー**、**グループ**から選択します。
3. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。
 - または、リスト内の表示したい名前をダイヤルします。
4. 強調表示した連絡先の詳細を表示するには、**詳細**を押します。電話帳に戻るには、**リスト**を押します。
5. 強調表示した連絡先に発信するには、**通話**を押します。

コールバックの設定

内部ユーザーへの通話に応答されない場合は、**自動コールバック**を押すと呼び出しを終了できます。

相手のユーザーが通話を終了すると、システムがユーザーを呼び出します。それに応答すると、その内部ユーザーをもう一度呼び出します。

通話への応答

緑色の低速点滅するアピアランスボタンは、アラート中の通話を表します。現在通話中でない場合は、次の手順を行います。

- **呼出中の通話の応答**：**応答**を押します。通話が引き続きアラートされます。
- **メールボックスへのリダイレクト**：**VM** に転送を押します（表示されている場合）。
- **応答**：ハンドセットを持ち上げます。
- **ハンズフリーでの応答**：**スピーカー** を押します。
- **ヘッドセットでの応答**：**ヘッドセット** を押します。

別の通話に応答する

すでに通話中の場合、新しい通話に応答すると、既存の通話が自動的に保留になります。

1. 応答するには、待機中の通話のアピアランスボタンを押します。
2. または、上/下方向キーを使用して待機中の通話を強調表示します。必要なアクション、**応答**、**VM** に転送、**応答**、**切断**を選択します。

ボイスメールに通話を転送する

ユーザーは、自分宛の通話を直接ボイスメールに転送できます。

1. 現在、通話が強調表示されていない場合は、上/下方向キーで強調表示させます。
2. **VM** に転送を押します。

通話の音量を調整する

通話中に着信の音量を調整できます。

1. 通話が接続された状態で、**-/+音量**キーを押します。
2. **[+]** プラスと **[-]** マイナスキーで音量を調整します。

通話モードを切り替える

通話に応答した後に、次の各モード間を切り替えることができます。

- **ハンドセットに切り替える**：ハンドセットを持ち上げます。
- **ハンズフリーに切り替える**：**スピーカー** を押します。ハンドセットを置きます。

- **ヘッドセットに切り替える**：ヘッドセット を押し ます。ハンドセットを置きます。

通話を保留する

1. 現在の通話を保留するには、**保留**を押すかコールアピアランスボタンを押します。
2. 保留通話は、緑色に高速点滅するコールアピアランスボタンで示されます。
3. 保留中、発呼者には保留音または数秒ごとにダブルトーンが再生されます。

通話をミュートする

通話をミュートすると、発呼者にはユーザーの声が聞こえなくなりますが、ユーザーは相手の声を聞くことができます。

1. ミュートするには、**ミュート**を押します。ボタンが点灯します。
2. ミュートをオフにするには、もう一度 **ミュート** を押します。

通話を終了する

1. 接続されている現在の通話を終了するには、次の手順を行います。
 - **スピーカー**：点灯している場合は、それを押します。
 - **ヘッドセット**：点灯している場合は、それを押します。
 - **ハンドセット**：ハンドセットを置きます。
2. 通話を終了するには、方向キーを使用して通話を強調表示します。**切断**を押します。

会議を開始する

接続済みの通話と保留中の通話がある場合は、**会議**を押すとそれらの通話が会議通話になります。

それ以外の場合で会議を開始したり、会議に別の参加者を追加したりするには、次の手順を行います。

1. **会議**を押します。現在の通話が保留になります。
2. 会議に追加する参加者をダイヤルします。
3. 参加するには、**会議**をもう一度押します。
4. 会議に参加しない、または応答しない場合は、**切断**を押します。保留通話のアピアランスキーを押します。

その他の参加者を切断/ミュートする

1. 会議の間に、**詳細**を押します。

2. 会議参加者のリストをスクロールします。
 - 発呼者を切断するには、発呼者を強調表示して**切断**を押します。
 - 発呼者をミュートするには、発呼者を強調表示して**ミュート**を押します。

通話を転送する

1. **転送**を押します。現在の通話が保留になります。
2. 転送先の番号をダイヤルします。
 - 転送先が応答しない、または通話を受け付けけない場合は、**キャンセル**を押します。
 - それ以外の場合は、**完了**を押します。

ボイスメールに通話を転送する

メッセージキーを使用して、別のユーザーまたはグループのボイスメールメールボックスに通話を転送できます。

1. 通話が接続されている場合は、**メッセージ**を押します。通話を続行できます。
2. 内線番号をダイヤルして**選択**を押します。

連絡先を追加/編集する

1. キーを押します。左/右方向キーを使用して**個人用**を選択します。
2. 連絡先を追加するには、**新規**を押します。連絡先を編集するには、強調表示して**編集**を押します。
 - a. 上/下方向キーで、名前/番号のエントリを切り替えます。
 - b. 設定できたら、**保存**を押します。

通話ログから連絡先を追加する

通話履歴に表示される名前と番号を、個人用連絡先に追加できます。

1. **通話ログ**ボタンを押します。左/右方向キーを使用して、表示される通話、**すべて**、**発信**、**応答済みの**、**不在着信**から選択します。
2. 上/下方向キーで、通話をスクロールします。
3. **その他**を押してから**+連絡先**を押します。
 - a. 上/下方向キーで、名前/番号のエントリを切り替えます。
 - b. 設定できたら、**保存**を押します。

メッセージを確認する

1. **メッセージ**ボタンを押します。要求された場合は、ボイスメールのパスワードを入力して、**完了**を押します。
2. **再生**の横にある数は、新規、旧、保存済みのメッセージ数を表します。
3. **再生**を強調表示して**選択**を押します。
4. 上/下方向キーで、再生するメッセージ（**新規**、**使用中**、**保存済み**）を強調表示して、**選択**を押します。
5. 最初のメッセージの詳細が表示されます。
 - 上/下方向キーで、メッセージをスクロールできます。
 - ソフトキーを使用してメッセージ再生を制御します。
 - メッセージは再生後に設定時間が経過すると、自動的に削除されます。

ボイスメールのオン/オフ

不在着信の場合にボイスメールを使用するかどうかを制御できます。この操作によりメールボックスがオフになることはありません。引き続き既存メッセージを再生したり、他の機能を使用したりできます。

1. **メッセージ**ボタンを押します。要求された場合は、ボイスメールのパスワードを入力して、**完了**を押します。
2. 上/下方向キーで、**ボイスメール**を強調表示します。
3. **変更**を押して**オン**または**オフ**を選択します。
4. **保存**を押して変更を保存します。